

**荒川太郎右衛門地区自然再生協議会**  
**第3回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録**

●平成26年11月18日（火）9:30～11:35、荒川太郎右衛門地区自然再生地（現地）

**【議事結果】**

- 各委員の目指したい環境の目標像や管理・利用のイメージは、共有されているものもあるが異なる部分も多いことが確認できたので、他の地区の現地確認後に会議の中で検討する。
- 土木的な意図を持って整備した場所には、それを説明する看板が必要である。

**【主な議事内容】**

◎協議事項

●今後に向けて

- ・ 各委員の目指したい環境の目標像や管理・利用のイメージは、共有されているものもあるが異なる部分も多いことが確認できたので、他の地区の現地確認後に会議の中で検討する。

●各整備地共通

- ・ 土木的な意図を持って整備した場所には、それを説明する看板が必要である。
- ・ ヨシやオギ群落を維持するためには、クズやカナムグラなどのつる性草本の管理が必要である。

●横堤付近、旧流路（下流側）、モトクロス場跡地D（H25-26 整備）

- ・ 横堤の突端に昔のコンクリートの基礎があるが、ここにのぼるだけでも眺望が良くなる。なんらかの展望施設を設置して欲しい。現在上池で工事を行っている施工業者の仮設プレハブ小屋の様なものでも良いし、四阿なども良いと思う。
- ・ 看板があった方が良い。
- ・ トイレが欲しい。三ツ又沼ビオトープにあるような簡易なものでは衛生的に保たれないので、しっかりしたものが欲しい。場所は堤内でも良い。
- ・ 旧流路やモトクロス場跡地D（H25-26 整備）の整備地を周遊する通路は必要ない。
- ・ 伐採試験中のシンジュは、整備地に近いので根絶させたい。
- ・ モトクロス場跡地Dは、旧流路との接続はせずに異なる環境のままとしておく方が多様性が高まると思う。普段は地下水位に応じた状態とし、それ以外は高水敷が冠水する規模の出水時に水が入れば良い。

●モトクロス場跡地D（H23 整備：見本池）

- ・ 見晴台の高さは、50cmではやはり低いのもう少し高くした方が良いが、あまり高いと安全対策も必要になってくるので、高さ設定には注意が必要。
- ・ 「見本」として整備したが、現状はオギの繁茂が著しく、見晴らしは良くない。ここを見せることにこだわらず、H25-26の整備範囲が拡大したので、そちらと旧流路を展望しやすいようにした方が良い。

### ●モトクロス場跡地 C

- ・ ヤナギ類は湿地の植物であり、鳥も利用する良好な自然の要素なので、このままで良い。もし過剰になったらそのときに伐採すれば良い。
- ・ 現在のオギ群落へ、旧流路から水を入れることで、より湿潤化を図り、ヤナギを抑制することは考えられる。
- ・ コウノトリのような鳥類が採餌しやすい湿地が欲しいが、ここはオギ群落で使えない。モトクロス場跡地 D の整備地の様子を見たい。
- ・ オギ群落のところを一度、野焼きをしたい。
- ・ 旧流路河岸のタケ類を管理したい。在来種の河畔林は下流端に分布し、数個体がタケ類に混じって点在するので、それを残してタケ類は除去したい。

### ●管理用通路、旧流路（上流側左岸）、モトクロス場跡地 A

- ・ この場所に通路は必要であり、維持したい。
- ・ 通路は観察会・学習コーナーなどで利用したい。
- ・ 雑草が生えないような道路も考える必要がある。例えば、環境にやさしい舗装。ただし、本当の管理のためと人を入れるためのもの。
- ・ 人や車が自由に入れるようにすると、不法投棄されたり外来種が侵入しやすくなるので注意したい。
- ・ 整備地内の管理は、当面はモニタリング結果を見ながら必要性を考える。
- ・ 通路周辺のハリエンジュや外来種の草本、クズ・カナムグラは早急に除去したい。クワも管理したい。

### ●導水路

- ・ 呑口までは本田航空の占用道路から遠いため、導流工を説明する場としては、導流工と本田航空占用道路の交差部をしっかりと草刈し、常に水路が見えるようにすべき。また、説明看板が必要。

### ●呑口

- ・ 呑口は構造物であり管理瑕疵の可能性があるので、立入禁止措置が必要である。
- ・ 呑口は、案内者がついている条件では見せるようにはしたい。
- ・ 呑口はゴミが溜まっており、除去が必要である。
  - 昔の呑み口の方が本川の流れに対して鋭角に合流しているため、ゴミがたまりづらいつと思う。

### ●旧流路（上流側右岸）

- ・ 延命地蔵尊のところは整備地の眺めが良く、樹木の陰であることや地元の方が管理されていることから草本が無く入りやすいので、展望場所として利用したい。
- ・ 人を案内するのに良い場所であり、事業概要の看板が欲しい。
- ・ 水辺に近づきすぎると鳥に影響するので、整備・利用にあたっては適切な離隔距離の設定が必要である。
- ・ 農業法人の関係者に協議会への協力を呼びかけたい。

●太郎右衛門橋

- ・ バス停からの歩行者向けに、堤外に降りる道路の入口に看板が欲しい

●その他

- ・ 次回の12月18日の現地開催の委員会は中池または下池を対象とする。

以上